

■生涯学習振興計画の見直しに関する調査結果概要

調査対象：関係各課	30課
調査施策・事業数：	329事業
調査期間：平成19年12月4日から	
	平成19年12月25日まで

平成15年に「和光市生涯学習振興計画」を策定し、本年度で5年目となりますが、策定後の社会状況の変化、市民ニーズや時代の潮流の変化に対応するため、また、総合振興計画後期基本計画との整合性に配慮し、関係各課で実施している施策・事業について、見直しに関する調査を実施しました。その調査結果の概要は下記のとおりです。

1 施策・事業の実施状況と評価

◆「平成15年度から平成19年度にわたって実施してきた事業の評価

- ①「よく取り組めた」128事業（38.9%） ②「ほぼ取り組めた」158事業（47.7%） ③「一部取り組めた」24事業（7.3%） ④「まったく取り組めていない」10事業（3.1%） ⑤「該当事業なし」6事業（1.5%）
⑥「その他」3事業（1.5%）

◆事業の評価で③「一部取り組めた」、④「まったく取り組めていない」、⑤「該当事業なし」とした理由、改善策等。

③「一部取り組めた」とした理由

- ・出前講座（講座を展開しているが、要望がなかった。今後とも啓発に努めたい。）
- ・福祉施設の充実（予算の範囲内において充分に取り組めたが、築20年以上が経過し、修繕を必要としている施設が多くなっている。）
- ・家庭教育学級の充実（参加者が少ない。子を持つ親が何を求めているかを探る。）

④「まったく取り組めていない」とした理由

- ・ホームページによる情報提供（道路台帳整備との整合性を図りつつ、将来はホームページにて情報提供できるようにしたい。）
- ・まちづくりについての学習（市民の要望などは、市長への提言箱やメールの普及により毎日寄せられるため、市政対話集会を開催する意義が薄れたため、休止状態である。）
- ・協働によるまちづくりの推進（常に募集しているが協働の相手からの応募がない。）

⑤「該当事業なし」とした理由

- ・県西部地域づくりマリンセミナーへの協力（県西部地域づくりマリンセミナー終了）
- ・総合型地域スポーツクラブの設立（市民ニーズの把握に努め総合体育館指定管理者等と協議検討を進める。）

2 「主な目標」及び「主要な施策・事業の名称と概要」と実施している事業との整合性

◆「主な目標」について

- ①「見直す必要がある」21事業（6.4%） ②「現状のままで良い」302事業（91.8%） ③「その他」6事業（1.8%）

①の見直す必要がある「主な目標」

- ・児童虐待防止ネットワークの充実 → 要保護児童対策地域協議会の充実
- ・県西部地域づくりマリンセミナー → 削除（事業終了により）
- ・古民家の復元・活用 → 古民家の保存・活用

◆「主要な施策・事業の名称と概要」について

- ①「見直す必要がある」41事業（12.5%） ②「現状のままで良い」284事業（86.0%） ③「その他」4事業（1.5%）

①の見直す必要がある「主要な施策・事業の名称と概要」

- ・市民まっりの充実（市の最大のイベントである市民まっりの充実を図るとともに、運営面における市民の自立性向上や関係各課との協力体制の強化を図ります。）
→ 市民まっりの充実（市民まっりと農業祭を統合した市最大のイベントを開催するとともに、その充実を図ります。また、市民主導による各イベントの参画及び運営を推進するとともに関係各課によるイベント協力体制の構築とその強化を図ります。）
- ・各種審議会等への参加推進（生涯学習活動を終了した方々が、まちづくりに関わる意思決定への参画を図るため、審議会等への参加を推進します。） → 各種審議会等への参加推進（生涯学習活動に参加し、実践している意欲ある方々や団塊世代の方々の知識と経験を生かして、まちづくりに関わる意思決定への参画を図るため、審議会等への参加を推進します。）
- ・生活安全についての学習（交通安全について学ぶ機会を、地域や学校、警察との連携のもとに充実します。防災意識や万一の時の対処法を学ぶ、講演会、講習会、訓練を充実します。）
→生活安全についての学習（交通安全や防犯について学ぶ機会を、地域や学校、警察との連携のもとに充実します。防災意識や万一の時の対処法を学ぶ、講演会、講習会、訓練を充実します。）

生涯学習振興計画の見直しに関する調査票 A

担当課	主要な施策・事業の名称と概要	掲載計画のページ	具体的な事業名・該当なし	事業の評価	評価でC又はDとした理由と今後の改善策等	「主な目標」が実現している事 「主要な施策…」と実施して いる事業との整合性 見直しが必要 現状のままで良い がある	「主な目標」が実現している事 「主要な施策…」と実施して いる事業との整合性 見直しが必要 現状のままで良い がある	「主な目標」 見直し後の「主な目標」又は「主要な施策…」等の内容
生涯学習課	青少年に関する施策の連絡調整及び青少年の健全な育成を推進します。	37		A B C D E				
生涯学習課	市の最大のイベントである市民まつりの充実を図るとともに、運営面における市民の自立性向上や関係各課との協力体制の強化を図ります。	67		A B C D E				
生涯学習課	子育て支援や高齢者の介護など福祉活動や地域活動、文化活動におけるボランティア養成のための講座を充実します。	68		A B C D E				
生涯学習課	生涯学習活動を修了した方々が、まちづくりに関わる意思決定への参画を図るため、審議会等への参加を推進します。	69		A B C D E				
生涯学習課	行政の様々な分野で、生涯学習活動を修了した方々が、その学習の成果を生かしてボランティア団体をはじめとした活動グループ、NPOなどとの協働による事業展開を図ります。	69		A B C D E				
生涯学習課	各部門別計画の策定における住民懇談会やアンケート調査など、あらゆる機会を通じて、まちづくりに関する情報提供、情報交換を進め、学習の機会として活用します。	39		A B C D E				
生涯学習課	ホームページを充実し、市における生涯学習振興の取り組みや、文化財情報、各施設の空き状況や講座・教室の開催状況、イベント情報等、和光市の生涯学習をわかりやすく伝えます。	48		A B C D E				
生涯学習課	学習者の要請に基づいて、まちづくりに関わる問題などについて、行政職員が講師として学習者の身近な場に出向き、開催する「出前講座」を展開します。	49		A B C D E				
生涯学習課	妊娠中の不安やストレスを軽減し、新生児の子育てについて学ぶための赤ちゃん教室や赤ちゃんと、乳幼児の子育てを学ぶ機会を充実するとともに、父親の子育てへの参加、理解の契機とします。	32		A B C D E				
生涯学習課	小・中学生を持つ保護者を対象に、青少年期の子どもの教育について学ぶための家庭教育を充実します。	32		A B C D E				
生涯学習課	ものづくりや自然体験、伝統文化などを親子で楽しむ学習機会を充実し、コミュニケーションを深める契機とします。	33		A B C D E				
生涯学習課	乳幼児を持つ利用者に対しては、安心して学習機会に参加できるようにするため、託児室等の整備やボランティアによる預かりサービス体制の充実を図ります。	34		A B C D E				
生涯学習課	放課後など、保護者が就労等で家庭にいない小学校1～4年生の児童に生活の動を与える留守家庭児童を充実します。また、障害のある児童の受け入れを進めます。	34		A B C D E				
生涯学習課	児童生徒を対象とした、図画工作や料理、おもちゃづくり、伝承遊びなど、創作活動を楽しく活動を実施します。	35		A B C D E				
生涯学習課	青少年に対し、ボランティア活動など社会奉仕体験活動やその他の体験活動の機会を提供する事業を充実します。	35		A B C D E				
生涯学習課	自然観察教室や天体観測など、和光市や近隣の自然観察や自然体験のための活動を充実します。	35		A B C D E				
生涯学習課	地域の歴史や文化、地元産業や農業などについて体験的に学ぶ機会を創出します。	36		A B C D E				
生涯学習課	子どもたちが企画し、運営するイベント等の開催を進めます。	36		A B C D E				
生涯学習課	中学生・高校生向けの各種教室・イベントを充実するとともに、自由に参加できる場を確保します。	36		A B C D E				
生涯学習課	年少の子どもも楽しめる相手や、児童向けイベント等での「リーダー」として活動する中学生、高校生及び大学生の「遊びのリーダー」育成制度を創設し、その活用を図ります。	36		A B C D E				
生涯学習課	依然として残る同和問題に加え、国籍、性別や障害の有無、疾病や犯罪に関することなどの様々な差別の解消に向けた学習を進めるため、講演会や講座の開催、啓発を進めます。	38		A B C D E				
生涯学習課	男女が対等なパートナーとして共に参画する社会に対する理解や、女性の権利についての理解などを深めるため、講演会、講座の開催、市民による啓発を進めます。また、生活面における男性の自立を促す講座・教室、女性の参加意識や職業能力を向上させる講座・教室を開催します。	38		A B C D E				
生涯学習課	米国ワシントン州ロングビュー市との姉妹都市交流（別掲P.46 (3) ①）などを通じた親善交流活動、外国語や国際社会の諸問題を学ぶ講座などの充実を通して、国際理解を深める学習機会を充実します。	39		A B C D E				

